

TOREK 自然農法 ホットニュース

第 249 号 2019.1.25

健康な地球に生きる健全な人間の姿を求める「岡田茂吉師」が提唱した「自然農法の原理」に基づき、「無施肥無農薬栽培」を通し、生産、流通、消費者がお互いの現場を理解し合える、安全で豊かな「食」の普及に取り組んでいます。

奇跡のみかんジュースの継続！

いつも「市川生産グループ」の「みかんジュース」をご利用いただき、感謝申し上げます。

主にみかんジュースを作っていた「沼津市西浦」の畑のみかんは、徐々にではありますが、木の寿命で枯れ、また鹿の被害等で収穫量が減って、今年は 45 kgとなりました。毎年作らせていただいていた、みかんジュースです。「具合が悪くなったときに飲むことができ、体調が回復した」「命を頂いた」等のお話をよく聞かせていただいています。

そんな中、埼玉県秩父に、みかん 100 kgあれば受け入れてくれるジュース工場を見つけ、昨年の 11 月に係 3 人で伺ったおり、ゆずジャムをつくるために種をフォークで丁寧に取り除いている様子を見せていただき、感激しました。今までの工場は、みかん 800 kg以上でしたので、このような小ロットで扱ってくれる所と出会わせていただけて感謝です。

「伊東市宇佐美」の畑のみかんは 195 kgの収穫でした。今年は西浦と宇佐美のみかんと合わせて 216 kgでジュースを作ることになりました。宇佐美の畑では、苗木から育てて 11 年目のみかん木が順調に育ち、たくさんの実をつけました。まだまだ小さなみかん木ですが、今後多くの人にみかんジュースをお届けできるように愛情をかけていきたいと思ひます。(市川生産グループ：飯塚友子)



10月12日 きじま平

2018年度「おかげさまの稲作報告」

2018年度、TOREK 自然農法普及員として、多くの「圃場見学」「体験学習」「お手伝い」に行かせていただきました。その中で、いくつか稲作で心に残っていることを、お伝えしたいと思います。

長野きじま平の堀さんの取り組みで、「徹底した除草機使用によって、自然農法の有効性を実証しよう」と、毎週のように、前回やりきれなかったお手伝いに行きました。やりきれたのか疑問が残りましたが、きじま平自然田は、自然の芸術、金色の田を見せてくれました。携わらせていただけたことへの感謝で、とても

感動いたしました。「日水土・自然の力のおかげさま」でした。このおかげさまに、消費者としては、「食に対するおかげさま」に感謝し、「しっかりお米を頂かないといけない」と強く思いました。

自然農法に関係する(作り、伝え、食べる)、私たち消費者はぜひとも圃場へ、体験や見学に足を運んで、農に携わらせていただきたいと思います。昨今、「食べ残し問題」がありますが、お金や、もったいない、だけでなく、「自然力のおかげさま」をしっかり認識してほしいです。きっと、おかげさまの「味」を「力」を感じられると思います。

そして、TOREK 自然農法の堀さんが 11 月、米・食味分析鑑定コンクール国際大会で「金賞」を頂けたことで、神様はちゃんと見てくれるんだと、涙が溢れた出来事でした。

それから、千葉の勝田台で、熊澤さんの圃場の除草と、収穫の少しですが、お手伝いさせていただきました。30 数年、無施肥無農薬で、畑苗、手植え、天日干し。「とても力強い稲」が稔っていました。ここにも感動がありました。バインダーのハブニングなどがあり、手刈りの部分も出たので、藁の感触



7月17日 栃木の自然田(あぜ左)の葉色の良さ

森さんと、山下さんも、ベテランになっても、まだまだ課題が起こる自然田です。今年度さらに共に取り組み、考え、携わらせていただきたいと思います。

そして、熊本きくち村の生産者の實取さんは、経験を重ねて、稲は素晴らしい形を見せてくれました。農産展展示の稲株を見ると、(品種の違いもありますが)渡辺さんのオマチと、實取さんのアサヒは、とっても BIG でした。また、農産展販売にはお二人東京へ来て、売り場に立ち、「自然米」を直接販売し、消費者との交流も行いました。

他にも稲作生産者は、静岡、熊本、新潟、宮城、長野などに、新しい方、歴史ある方、たくさんありますが…。「稲作は一期一会の如し」、1年に1度しかできず、いろいろな思いを込めて、「生産者におかげさま」です！

2019年度は、より向上した自然農法の生産者や生産量も増えていきます。私たち消費者も、「自然農法実食」と「無施肥無農薬のお知らせの努力」をして、TOREK 自然農法を広めて、生産、流通、消費の輪を大きく作り出していきたいと思ひます。(TOREK 自然農法普及員 野中康次)

がとても印象に残っています。

そして栃木の五十嵐さん、コツコツ取り組み、積み上げてきた田んぼは、「隣の慣行田に葉色が追いつき、追い越した様子」と、「端と真ん中の差があまりなく、平均的によく育った姿」を見ることができ、収穫も、野中(筆者)目線では満足のいく結果でした。

それから、福井のコスモファームの黒田さんは、各1反をコシヒカリ、ササニシキ、ハナエチゼンの無施肥無農薬で作った苗を実施して、収穫販売までできました。育苗と収量面など、今年度に向けさらに努力するお話をしています。

北陸では福井の富田さん、石川のよしたい農園の



9月18日 熊本の實取さん(左は渡辺さん)

自然米で元気になりました！

千葉県 太田香織



昨年12月、娘の愛実(まなみ)が、高熱と嘔吐により何も口にできませんでした。少し熱が下がり、ちょうど購入してあった堀さんのお米を炊いて娘が口にすると、「おいしい」「おいしいね」「おかわりする」と言って、喜んでご飯を食べることができました。嘔吐も治まり、その日に元気になりました。

娘は、今までご飯よりパンを好んで食べていましたが、これをきっかけに、毎日ご飯をたくさん食べるようになりました。

感謝の気持ちを伝えようと、娘が「ほりさん ごはんをたべてげんきになりました。ありがとうございます」と手紙をお渡しすると、堀さんは喜んでくださいました。この体験をいかしていきたいと思ひます。

お知らせ

- ★ 自然農法頒布会 2月15日(金) 鎌ヶ谷会場 11:00~15:00
- ★ 自然農法頒布会 2月24日(日) 東中野会場 10:00~15:00

無施肥無農薬栽培物の販売予定

2月4、10日 於：伊都能売会館

生産者の方々が直接販売されます。 東京都八王子市長房町 57 042-665-6369

- きじま平自然農産：自然米、納豆、甘納豆、干し柿、きな粉、大根 (納豆は4日のみ)
- 市川生産グループ：煎茶、ほうじ茶、ほうじ茶ティーバッグ
- 長柄山自然農園：卵、挽肉、大根 ● 菜園金野：4日 ホウレン草、10日 小松菜
- 中島農園：長ネギ、ジャガイモ、梅干、自然のリンゴチップ
- ジョリフィーユ：バレンタインギフト、マドレーヌココア、プリン他

お問い合わせ先：編集部 針貝 FAX：03-3369-3324 e-mail: naturefarming@torek.jp
TOREK活動のホームページもご覧ください。 <http://www.torek.jp>